

※※※※※ 発行人 ※※※※※
 特定非営利活動法人
 介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会
 代表理事 熊谷 道夫



あれから8年！新たな住まいの場からのスタート

～～ 石巻市釜・大街道地区 民生委員児童委員協議会のささえあい活動の取り組み ～～

常任理事 阿部 武治
 (石巻市釜・大街道民生委員児童委員協議会会長)

3月11日、東日本大震災から8年が経過しました。

石巻市は復興住宅の整備も完了をむかえ、多くの住民が仮設住宅から復興住宅など、新たな住まいの場での生活をスタートしています。

釜・大街道地区は石巻市の中心部に近く、現在約1万4千人が住む、市内でも2番目に人口の多い地区です。

また、石巻工業港に隣接することから、震災で多くの被害を受けた場所でもあります。

平成27年より現在まで地区内には17カ所、718戸の復興住宅が整備され、新たな住民の受け入れと地域コミュニティの再構築が進められています。



福祉のつと



釜・大街道地区民生委員児童委員協議会は現在26名で活動をしており、毎月1回行われる定例会では民生委員活動での喜びや悩みをみんなで共有し、時にはアイデアや解決策を出し合いながら、「より良い暮らし、誰もが安心して自分らしく暮らせる地域づくり」を目指し活動をしています。

そんな日々変化する地域の実情に合わせた活動の中では、「復興住宅の方に、地域活動に参加してもらうにはどうしたら良いか」「高齢者の方が、家に閉じこもり気味で心配・・・」「もっと、お茶会などサロン活動に参加して欲しい」など、地域のつながりづくりからみえる課題が多く共有されるようになりました。

介護予防の視点からも、もっと地域の活動への参加を通して、住民同士の顔の見える関係作りを進めることが出来ないかと話し合いを深めてきました。

民生委員児童委員の中には、自ら「集いの場づくり」に取り組むメンバーもあり、震災後地区内には、多くの「集いの場」が立ち上がっていることも共有していました。



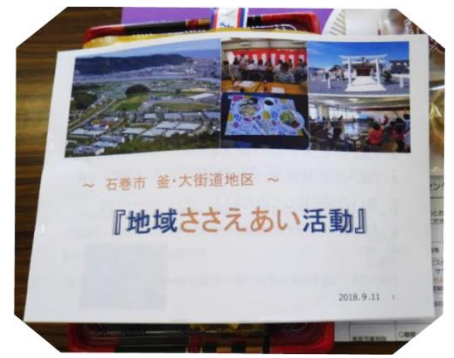
「お茶会へお声がけしても、どこでどんなお茶会をしているのか伝えにくい」「なかなか、参加の一步は踏み出しにくいもの」そんな参加者側の気持ちの理解も深めた結果、集いの場の情報の整理を行う事にしました。

「地域のささえあい活動の情報をまとめ見えやすいようにする」そして「地域の方に配ってみる」「誰もが地域の活動に参加しやすいようにきっかけを作ろう」と民生委員児童委員の想いから、この取り組みはスタートしました。自分たちだけでは難しい部分は石巻市社会福祉協議会の地域福祉コーディネーターさんや山下地域包括支援センターさんに相談し、支援者の協力も得ながらこの「ささえあい活動」の情報誌はうまれました。

まずは自分の担当地区にある集いの場のリサーチからはじめ実施者に聞き取りも行いました。町内会ごとに、サロン(お茶会)、エプロンのマザーと一緒に「マザーカフェ」地域の輪・和・話づくりの「上釜なしばたけ」、自由な時間・空間でものづくり、おしゃべりの「まじゃらいん」、こころも体も元気に「大街道元気ダンベル」等集いの場情報を一覧にし、誰もが参加しやすくなるように写真や参加費等の詳細も記載しました。

完成したものは毎年民協で実施している、一人暮らし高齢者の方を対象にした“福祉のつどい”で配布し、大変喜んでいただきました。

参加者からは「自分の住む町内にこんな集いの場が



あったことを知らなかった」「お友達を誘って行ってみたい」など嬉しいお声もたくさんいただきました。

私たちがささえあい活動を整理する過程で自分たちの住む地域の情報を把握する事につながったと同時に、この集いの場が地域の顔の見える関係性を高めること、そして介護予防の視点からも大きな役割を担っている事を再確認する事ができました。

これからも“誰もが安心して、自分らしく暮らせる地域づくり”を目指し、自分たちも、安心して歳が取れる町になったらいいなあと地域の復興を願いながらこれからも活動していきたいと思っています。



~~~~~ 会員の皆さんの近況報告 ~~~~~

今年もチャレンジ

石巻地域 本田 裕子



――今、何か楽しんでますか
仕事・孫の成長・ボランティア活動・趣味(編み物、グルメ)旅行と人生を楽しんでいます。

――調査に行ったら最初の頃と今の違いについて感じていること……

公表の調査が始まった当初は、内容を一つ一つ説明し理解して頂いて資料を出して頂くという流れで、大変時間もかかりました。

又、調査時間や調査料金などについて苦情を言われ気持ち

が折れそうになった事もありました。研修の度にスムーズに調査が進められるか話し合い、今現在は、事業所の皆様の協力のお蔭で、事前に付箋を付けてご準備頂いているのでスムーズに調査ができています。

又、施設の方々から見直す良い機会になりますと感謝の言葉を頂くまでになり、「情報公表制度」の意義を理解してもらえた嬉しくなりました。

――これからしたいと思っていることは……

日本一周ローカル線ひとり旅に加え、燻製作りなど毎年新しいことにチャレンジして行きたいです。



道の駅で買い物

石巻地域 阿部 武治

――地域で何かなさっていますか

震災語り部、民生委員、町内会役員等で地域の一員として皆さんと触れ合い楽しい日々を過

ごしています。

――調査に行つて最初の頃と今の違いについて感じていること……

調査活動を始めた頃、三陸道もなく朝6時30分頃国道45号線を利用し、3時間かけて出かけていたのが懐かしく思います。今年三陸道が気仙沼まで開通し、1時間弱で行けるようになり便利になります。

――良かったこと、楽しかった事は……

調査に行く前、資料を見て不安な事業所もスムーズに調査活動を終えて、帰りに道の駅等で買い物をして来るのも楽しみの一つです。

――これからの目標について一言……

これから何年できるか一年一年チャレンジ精神で行きます。

パークゴルフ三昧

石巻地域 城間 弘文



――いろんなことをなさっているようですが……

パークゴルフの愛好会3つに加入し、週3日の練習と海釣りが好きで風

のいい日は工業港や牡鹿半島に車を走らせています。又、個人にしては広すぎる畑を耕し野菜を作っています。今はシーズンオフですが、春になると急に忙しくなります。新鮮な野菜を食べられるのは最高です。

――調査に行つて最初の頃と今の違いについて感じていること……

「情報公表の調査」初めの頃は調査に時間がかかり、気仙沼方面に行つた時は真っ暗になった道を2時間かけて帰って来ました。仙台の調査員さんはそれから電車で帰るので気の毒でした。東日本大震災後は女川、志津川、気仙沼など被災地はナビを使つても目的地が解からず、地元の人に何度も聞いてやっとたどり着いた事もありました。又、「グループホーム鮎川の郷」に相楽さんと外部評価に行つた時、東日本大震災に遭い自分の家族、家はどうなっているのかも確認できないまま石巻市役所鮎川総合支所の避難所で2晩過ごし、やっとの思いで帰つた事がありました。家は全壊で家族は無事でした。

――調査員になって良かった事は……

「一万人市民委員会宮城の調査員」で得た知識や経験が介護問題で困っている友人の為に役立ち喜ばれたこと。

――これからはなにを……

85歳まで健康に生き、ピンピンコロリで周りに迷惑をかけない事。認知症予防のために囲碁の勉強を始めました。



健康第一、安全運転

石巻地域 山内 くに子

――今年度は何処へ行きましたか
今年度は気仙沼、栗原、古川、鳴子方面に訪問させて頂く事が多く、

大自然の恵みや季節の移り変わりなどを楽しませて頂いております。

――調査に行つて、ご苦労なされたことについて……

職員の方々が忙しい工作中に準備された数々の資料を、担当者が変わる場合などにも連絡しあって滞りなく調査に応じてくださる姿は、10年前も現在も変わりなく感謝でございます。

――活動して気づかれたことがあれば……

今年度は気仙沼福祉プラザにて県福祉部長寿社会政策課、県指定情報公表センター、みやぎ介護人材を育む事務局の代表の方々の「介護サービス情報公表制度研修会」が開催され、後日一万人市民委員会の「情報公表フォローアップ研修会」が行われました。熊谷代表理事の年頭のご挨拶で後期高齢者を過ぎてから、グローバルな課題について変化が激しいと記載されておりましたが同感です。

――これからの目標について……

これからも数々の研修を基本に訪問調査を健康第一安全運転で進めてまいります。

新調査員紹介



社会参加
～ 地域・人とのつながり～

齋藤 妙子

「会員になったきっかけ」

以前よりボランティアをしようと思っていたところ友人から声がけをいただきました。

「介護・福祉について思う事」

自分も含め高齢化が進んでいる中、暮らしの基盤である地域・人とのつながりをどうするか、社会参加することで考え介護予防になればいいと思っています。

「訪問調査をして感じた事」

まだ数ヶ所の訪問でしたが、どちらの事業所も丁寧な対応で良い雰囲気のお仕事でした。

「趣味・特技」

読書、落語（聴く）、旅行



これからの介護予防の姿



生活支援・介護予防サービスの更なる充実に向けて

すべての高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるため、高齢者自身が生活支援の担い手として社会的役割を持つことにより、生きがいや介護予防にもつながるよう高齢者の社会参加を促し、生活支援・介護予防サー

ビスの更なる充実に向けて、地域の中に生きがい・役割をもって生活できるような居場所と出番づくり、支え合い助け合い等各種各様の支援活動や地域づくりに取り組んでいる団体を紹介します。



ご存知ですか？

あなたの地域の福祉活動



富谷市明石台 第3町内会

ゆとりすとサロン“モナミ”

富谷市では、平成6年に歩いていけるサロン、そこに行けばサポートしてくれる人がいて、気軽にお茶のみができ、自然に身体を動かし、楽しく過ごせる場＝「ゆとりすとクラブ・サロン」が誕生しました。お互いに支え合い、安心して暮らせる地域住民同士のネットワークを広げることが目標で、地域で暮らす高齢者の閉じこもりを予防することを地域主導で行っています。平成26年度からは、社会福祉協議会も支援体制に加わり、地域介護予防事業「ゆとりすとクラブ・サロン事業」を展開しています。



調理実習



絵手紙教室



生け花教室



健康麻雀

ゆとりすとクラブ・サロンの特徴は、町内会単位で設立し、地域サポーターによって運営されていることです。現在、市内の22か所で月1回程度開催されています。サポーターに年齢制限がなく、参加者はおおむね65歳以上の方が対象です。「自分が動けるうちは」と、70歳を過ぎてもサポーターとして参加している方が少なくありません。各サロンの年間計画には、健康相談、移動研修、全体交流会と、参加者の要望が反映されています。市と社協は、サロン等をサポートする人材を育成するため、毎年、養成研修等を開催しています。

明石台第三町内会は、地下鉄泉中央駅から北へ4 kmの仙台市泉区と隣接する住宅地にあり、約550世帯が暮らしています。ゆとりすとサロンは3年前に開設し、サロンの愛称をみんなで考え、フランス語で「モナミ」（私のおともだち）に決めました。

現在、サロンの参加登録者は31名、約3分の2の方が定期的に参加しています。サポーターも31名の登録があり、参加（平均7～8人）できる時に一緒に活動しています。

サロンは年間スケジュールに沿って月2回、第2木曜日と第4土曜日の午前に、町内会館で開催します。

活動内容は、健康体操で始まり、多くの方に楽しく参加していただけるように、毎回、健康麻雀と茶話会、趣味の活動をしています。

趣味の活動では、町内会の方が趣味や特技を活かして講師をしています。今年度は、参加者の希望で生け花や絵手紙、蕎麦打ち、ハンドマッサージ、マジック、調理実習、音楽療法、出前カフェ等を行いました。

サロンをとおして、地域にたくさんのネットワークを作りたいとの思いから、東北大学落研の出前落語「明石台寄席」を企画し、近隣の町内会にも案内（回覧板）



健康相談



体力測定



健康体操



移動研修 やくらいガーデンにて



明石台寄席



して、多くの方に楽しんでいただいています。サロン内には富谷市民歌が映像とともに流され、ゆったりとした時間と空間が広がっていました。町内会長の勝又奎一さんからお話を伺うと「高齢化が進むなかで重要なことは共助であり、その原点は会員個々のつながり」との事でした。また「サロン活動等を通して会員、地域（子供から高齢者まで）のネットワークが重層的につながっていく、それによって地域の力が強くなるような仕組みづくりが大事」、そして「人と人がつながることの楽しさを共有していきたい」とも話されていました。

会員の方も和気あいあいと過ごされ、参加した方もサポーターの方も「このサロンに来るのが楽しみなの」と笑顔で答えてくれました。



理事会模様

◆平成30年度第5回理事会

★平成31年1月23日(水)、仙台市生涯学習支援センターにおいて第5回理事会が開催されました

主な活動報告、審議事項は次のとおり

1) 2018年度各事業項目進捗状況報告並びに提案・審議

2) 広報、財政、組織、総務関係について

3) 諸会議、研修会などの参加状況と今後の計画について

4) その他

◆平成30年度第6回理事会

★平成31年3月27日(水)、仙台市生涯学習支援センターにおいて第6回理事会が開催されました

主な活動報告、審議事項は次のとおり

1) 第18回通常総会開催並びに2019年度事業について

2) 2018年度各事業項目進捗状況並びに審議

3) 広報、財政、組織、総務関係について

4) 諸会議、研修会などの参加状況と今後の計画について

5) その他

(※詳細については事務局備付けの議事録を閲覧願います)

総会のご案内

第18回通常総会を開催します

総会に先立ち、みはるの杜診療所石原哲郎院長による認知症に関する講演会を併せて下記により開催します

記

日時 令和元年5月30日(木)13時～

場所 仙台市生涯学習支援センター

日程

1) 記念講演…… 13時～

「認知症の人とともに歩む」

講師:みはるの杜診療所院長石原哲郎氏

2) 通常総会…… 14時～

平成30年度評価・調査活動状況

◆福祉サービス第三者評価調査

・特別養護老人ホーム一重の里

・卸町光の子保育園

* 公表結果は一人市民委員会宮城ホームページ

(<http://www.ichimannin.com>) をご覧下さい。

◆介護サービス情報の公表訪問調査

合計:453施設

介護サービス情報の公表訪問調査を9月から開始しました。

・介護老人福祉施設	:	25施設
・訪問介護	:	62施設
・訪問入浴介護	:	6施設
・福祉用具貸与	:	21施設
・居宅介護支援	:	69施設
・介護療養型医療施設	:	2施設
・特定施設入居者	:	12施設
・通所介護	:	129施設
・訪問看護	:	17施設
・介護老人保健施設	:	10施設
・通所リハビリテーション	:	15施設
・訪問リハビリテーション	:	3施設
・認知症対応型共同生活介護	:	66施設
・小規模多機能型居宅介護	:	8施設
・複合型サービス	:	3施設
・定期巡回・随時訪問介護看護	:	5施設

* 公表結果は、<http://www.kaigokensaku.jp/> をご覧ください。

◆地域密着型サービス評価調査

合計: 148施設

・認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
148施設

* 自己評価及び外部評価結果はワムネット、

<http://www.wam.go.jp/> をご覧ください。

フォローアップ研修模様

◆第2回地域密着型サービス外部評価フォローアップ研修会

★平成30年12月13日(木)に仙台市生涯学習支援センターにおいて開催され、①認知症対応型共同生活介護における改定事項について、②意見交換 ③その他・事務局より

以上についてのフォローアップ研修が行われました。



◆2018年度情報の公表フォローアップ研修会 並びに会員交流会

★平成31年1月7日(月)に仙台市市民活動サポートセンターにおいて午前中は情報の公表の①30年9月から10月までの調査活動について報告、②県、仙台市、公表センター、調査機関打合わせ報告、③調査チェックシート使用状況、④その他についてのフォローアップ研修の後、会員の親睦・交流の昼食会を挟んで、午後からは地域支え合い活動に関するワークショップ形式による意見交換が行われました。



◆よろず相談会のご案内

2019年4月から7月までの開催日程は下記のとおりです

☆開催日程

- ・4月16日(火) 相談役 武田貴志 弁護士
- ・5月15日(水) 相談役 安田廣治 司法書士
- ・6月19日(水) 相談役 武田貴志 弁護士
- ・7月17日(水) 相談役 安田廣治 司法書士

◆会員交流会並びに平成30年度第3回情報の公表 フォローアップ研修会

★平成31年3月14日(木)に仙台市生涯学習支援センターにおいて、前回の交流会を踏まえて①アンケート集計結果報告、②当会の地域支え合い活動の方向性について提案、③意見交換・まとめ発表を行い、引き続き、情報の公表の①31年1月から2月までの調査活動報告、②宮城県、仙台市、公表センター、調査機関打合わせ報告、③運営情報、独自項目記入ミス、記入漏れについて、④調査チェックシート使用状況並びに次年度のチェックシートについて、⑤今年度調査を振り返っての意見交換、⑥その他についてのフォローアップ研修の後、会員の親睦・交流の昼食会を挟んで、午後からは地域支え合い活動に関するワークショップ形式による意見交換が行われました。



『地域支え合い推進委員会』 だより

これまで一万人市民委員会宮城県民の会として「私たちの理念と目標」である「介護の社会化」「人間の尊厳」「人間性の回復」「自立支援」を具現化するためにシンポジウム、フォーラム、セミナーを多く開催してきました。平成28年から地域包括ケアシステム推進委員会を立ち上げ、各地域で実施している活動取材し広報誌で紹介したり、サロン・カフェ等へボランティア参加しています。団塊の世代が75歳以上となる2025年を控え、関係機関と住民主体の取り組みのネットワークが求められていることから、今後は「地域支え合い推進委員会」として地域で必要とされていることなどから一万人市民委員会ができることを把握するため、平成31年1月に開催された会員交流会において「地域支え合い推進アンケート」実施、そして3月には集計分析内容が発表されました。また「今すぐできること」「少し準備してできること」「時間をかけることができること」についてグループ討議されました。



長寿社会は人間のみならず、ペットの世界にも及び、はからずも我が家のルルがメデタク百歳の表彰を受けることになった。

晴れの表彰式などとして縁がなかつたので、かかりつけのドクターからの知らせに、びつくりするやら、うれしいやら。

人見知りのルルはお留守番で、孫たちと一万人市民委員会広報の取材の前田さんと総勢5人で出席。

百八歳のワンちゃんを筆頭に、うやうやしく菅原院長先生から表彰状と沢山のおみやげを頂く。ハンドベルの演奏のあと、手作りの

マイペット愛猫！表彰さる

～～～ 老婆は一日にして成らず ～～～

理事 小山 照子



おでん等で、和気あいあいの歓談が続く。

今年で十四回目だとか。学校でも動物とふれあうことの大切さを話されている院長先生のお話を聞きながら、とても居心地の良いひとときを過ごすことが出来ました。

オムツをしたワンちゃんを抱っこしてきた人、各々、家族の一員として、あたたく見守られている様子に、一人暮らしの私も、ルルにどんなに癒されているのか実感した。

泣くなく施設に入所したネコ友の二を思い、最近、仙台でもペット同伴の介護施設が出来たと聞き、少しづつケアの質も変わってきているなあとうれしく思いました。

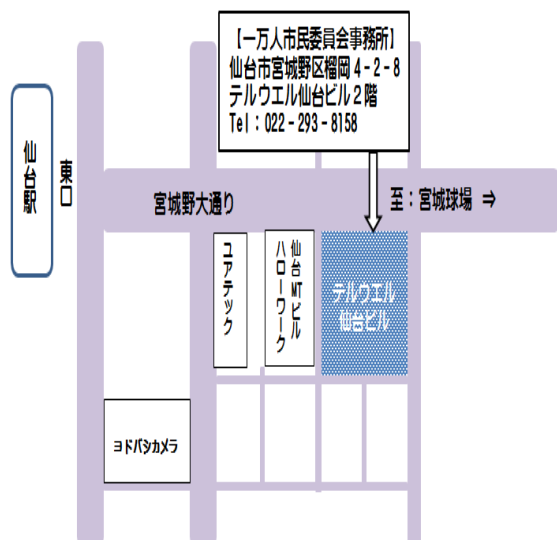
【編集後記】

平成最後の冬は変化の大きな天気、東北・北海道の日本海側は爆弾低気圧による暴風雪で大荒れ、太平洋側は夏の水不足が心配になるほどの少雪、桜の開花も早いようです。

今回の地域福祉活動は塩田氏の協力を得て、富谷市明石台第3町内会のサロン“モナミ”を取り上げました。

また一緒に調査活動をした方以外、会員の名前と顔が一致しないという意見があり、ベテラン会員の「今とこれから」をインタビューして紹介するコーナーを設けました。今回は石巻の方々をご紹介します。今後も各地域ごとに紹介したいと考えておりますので、ご協力宜しくお願い致します。交流の広場は心温まる「長寿猫」の話題です。皆さんに紹介したいトピックニュース等がありましたら編集委員にご一報ください。

(工藤)



編集委員 荒井 勝子 阿部 洋子 大坪 俊男 兼平 幸雄
工藤 俊廣 本田 裕子 前田 泰子

特定非営利活動法人
介護の社会化を進める
市民委員会 一万人市民委員会宮城県民の会
〒983-0852
仙台市宮城野区榴岡4-2-8 テルウエル仙台ビル2階
Tel:022-293-8158 Fax:022-293-8230
ホームページ:http://www.ichimannin.com
Email:ichimannin@alpha.ocn.ne.jp